

市民タイムス

発行所 市民タイムス 本社/〒390-8539松本市大字島立800番地
TEL (0263) 受付47-7777 編集47-7774 広告48-2000 販売47-4755 ©市民タイムス2016年
FAX (0263) 受付48-2422 編集47-1654 広告47-8585 販売48-2422 支社/安曇野・塩尻 支局/長野・木曽

平成28年(2016年)2月3日 水曜日



「直接貿易」で販路拡大

冷凍ギョーザ
シンガポールへ 松本の信栄食品初出荷

冷凍ギョーザの製造を手掛ける信栄食品(松本市並柳4)は、輸出者と輸入者が直接交渉、契約して貿易を行う「直接貿易」によるシンガポールへの冷凍ギョーザの出荷に乗り出した。人口減少に伴い国内市場の縮小が見込まれる中、消費意欲が旺盛で日本食への評価の高まる海外での販路を拡大させていく。

(横内里美)

月1回程度の出荷日 時保管するサン・フリー(1枚240個)を積み込んで冷凍ギョーザを一式(同市神林)で2日、初出荷式を開き、トラックに載せられて関係者が事業の発展を願った。氷点下25度以下で、900枚、得意のOEM生産

(相手先ブランドによる製造)で培ってきたノウハウを生かし、畜肉類や化学調味料を使わず現地の嗜好に合った「無添加野菜餃子」と「サーモン餃子」の2製品を開発した。交渉を重ねてきた輸入元会社の取引先レストランを中心にスーパーマーケットにも供給される。

る。

信栄食品は、貿易事務を仲介する日本商社を通じて海外展開をすでに図っているが、直接貿易による輸出は初めてで、全国的にも珍しい取り組みとなる。直接貿易は食の安全に対する責任を一手に担うリスクがある一方で、現地のニーズを即座にキャッチできるなどメリットも大きいという。神倉藤男社長(47)は「シンガポールでの継続的な取引を起点に近隣国へも進出したい」と話している。